

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握するとともに、施策の評価や市政への関心・意識の程度を調査し、市政運営上の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
広報媒体の活用状況	「広報うつのみや」の入手方法、「広報うつのみや」で読んでいる記事、アプリを利用した動画視聴状況、市政情報の各広報媒体の視聴状況、ホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページで知りたい情報は探しやすいか、ホームページで充実してほしい情報や機能
男女共同参画	「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度、生活の中で何を優先するか、配偶者等からの暴力を受けた経験、暴力を受けたときに誰かに相談したか
住宅用火災警報器	「住宅用火災警報器」設置義務の認知度、「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況、「住宅用火災警報器等」を設置していない理由、「住宅用火災警報器等」の点検等実施状況
市議会の広報紙	「あなたと市議会」の認知度と閲読状況、「あなたと市議会」の中でよく読む記事、必要だと思う記事、市議会情報の各媒体の利用状況
市政情報コールセンターと「よくある質問」	コールセンターの認知度、コールセンターの利用状況、ホームページの「よくある質問」検索システムの認知度、ホームページの「よくある質問」の利用状況
上下水道局発行の広報紙「私たちのくらしと水」	「私たちのくらしと水」の閲読状況
将来的な水道事業のあり方	水道事業を運営していく上で重要な項目、水道施設の老朽化に伴う更新や耐震化についての取り組み方、水道水の供給が困難となった場合の給水対応
宇都宮市の水道水	宇都宮市の水道水に対する感じ方、水道水をおいしくないと感じる理由、水道水をおいしくないと感じる頻度
生物多様性	「生物多様性」の認知度
特殊詐欺	特殊詐欺を何から知ったか、知っている特殊詐欺の手口、特殊詐欺に関してどのような連絡を受けたか、連絡を受けた際どのように対応したか、特殊詐欺被害を防止するために必要なこと
栃木 SC のホームゲーム	栃木 SC に興味があるか、栃木 SC のホームゲーム観戦経験、栃木 SC のホームゲームにどのような魅力があれば行きたいと感じるか

宇都宮市の景観	宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか、宇都宮市の景観上好ましくないと思うもの、景観について取り組んでいる（又は取り組んでみたい）こと
家庭の日	「家庭の日」の認知度、「家庭の日」をどのように知ったか
自転車のまちづくり	自転車の利用頻度、宇都宮市は自転車を使いやすいまちか、自転車のまちづくりを進めていくために必要だと思う取り組み

3. 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象者 満20歳以上80歳未満の日本国籍を有する市民4,800人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 平成27年7月29日～8月12日

4. 回収結果

調査対象数	有効回答数	有効回答率
4,800	2,434	50.7%

<性別・年齢別の回収状況>

年代	性別	調査対象数	郵送		インターネット		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
20歳代	男性	314	64	20.4%	12	3.8%	76	24.2%
	女性	286	82	28.7%	20	7.0%	102	35.7%
	計	600	146	24.3%	32	5.3%	178	29.7%
30歳代	男性	501	116	23.2%	36	7.2%	152	30.3%
	女性	405	160	39.5%	35	8.6%	195	48.1%
	計	906	276	30.5%	71	7.8%	347	38.3%
40歳代	男性	523	152	29.1%	35	6.7%	187	35.8%
	女性	466	229	49.1%	18	3.9%	247	53.0%
	計	989	381	38.5%	53	5.4%	434	43.9%
50歳代	男性	382	156	40.8%	16	4.2%	172	45.0%
	女性	385	236	61.3%	13	3.4%	249	64.7%
	計	767	392	51.1%	29	3.8%	421	54.9%
60歳代	男性	412	232	56.3%	7	1.7%	239	58.0%
	女性	482	351	72.8%	4	0.8%	355	73.7%
	計	894	583	65.2%	11	1.2%	594	66.4%
70歳代	男性	291	197	67.7%	1	0.3%	198	68.0%
	女性	353	258	73.1%	0	0.0%	258	73.1%
	計	644	455	70.7%	1	0.2%	456	70.8%
不明			4				4	
全体	男性	2,423	917	37.8%	107	4.4%	1,024	42.3%
	女性	2,377	1,316	55.4%	90	3.8%	1,406	59.2%
	不明		4				4	
合計		4,800	2,237	46.6%	197	4.1%	2,434	50.7%

5. 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになる。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となる。その精度は以下の式で表わされる標本誤差を算出することで把握できる。

通常のアンケートでは、信頼度として95%がとられるケースが多い。信頼度95%とは、100回に5回がその標本誤差の範囲におさまらないという意味である。

次の表は、本調査における信頼度95%の場合の標本早見表である。

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,434	±1.19%	±1.58%	±1.81%	±1.94%	±1.98%
2,400	±1.20%	±1.60%	±1.83%	±1.95%	±1.99%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,600	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.45%
1,200	±1.69%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.82%
800	±2.08%	±2.77%	±3.17%	±3.39%	±3.46%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%

< 標本誤差の算出方法 >

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b : 標本誤差

N : 母集団数 (宇都宮市の20歳以上80歳未満人口)

n : 比率算出の基礎 (回答者数)

p : 回答の比率 (%)

1.96 : 信頼度95%の場合 (信頼度99%の場合は2.58を使用)

< 表の見方 >

この表の見方としては、例えば、回答者数が2,434で宇都宮市が「好き」との答えが44.7%であった場合、「その回答比率の誤差の範囲は最高でも44.7%±1.94%以内(42.76%~46.64%)である」とみることができる。

6. 調査報告書の見方

- 集計値は、小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、件数を100.0%として算出した。